

札幌市下水道科学館

施設管理者：一般財団法人 札幌下水道公社

施設所在地：札幌市北区麻生町8丁目1番15号

調査見学時期：令和5年10月31日（火）

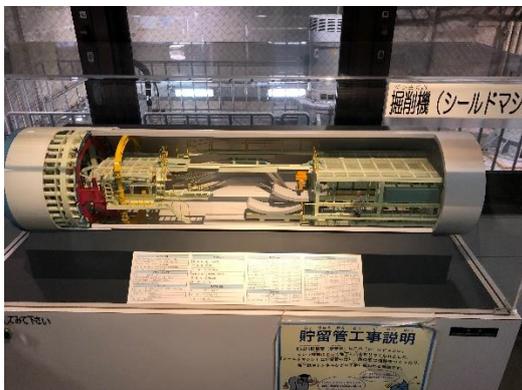
施設概要

札幌市下水道科学館は、札幌市の下水処理場である創生川水再生プラザ敷地内にあり、下水道の仕組みや役割を各種展示物で学べる施設です。

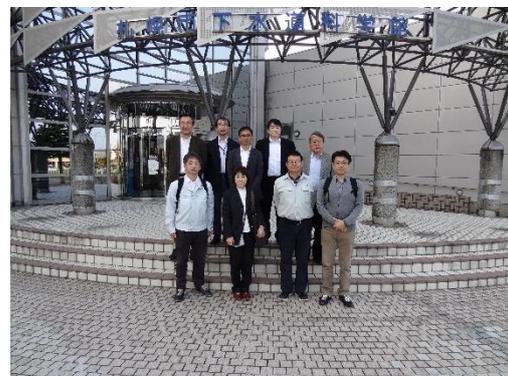
札幌市の下水道は約60%が合流式下水道です。これは雨水と家庭等から排出された汚水が同じ下水管を通過して処理施設に流れるもので、豪雨時には処理場で全てを処理することができず、一部は川に直接流さなければならないという問題がありました。これを改善するため、1時間雨量35mm（10年に一度の大雨を想定）の雨水に対応可能な直径5mの貯留管が設置されました。総延長は2.5km、札幌市内から創生川沿いに開削で設置され、創生川再生プラザでは上面深度15mに埋設されています。下水道科学館は、この貯留管の上に建設されており、地下に埋められた貯留管の内部を見学できるようになっています。見学時は晴天で貯留管の中は空洞でしたが、大雨の際に雨水が流入する様子を科学館内のビデオで見ることができました。

また、この貯留管は降雨のない冬季に、道路除雪による排雪を下水処理水で溶かす融雪管としても活用されています。札幌は人口100万以上で降雪量が世界最大の都市で、除雪した雪を集めて堆積させる場所にも限りがあるため、下水施設を有効利用した雪対策施設が整備されています。

下水道科学館では、下水管の清掃、保守、管理、運営の役割をゲームや体験施設を通じて分かりやすく学べるようになっています。下水管や下水施設は単なる地下埋設物ではなく、都市の重要なインフラ設備であることが認識できます。



展示されていたシールドマシン模型



札幌市下水道科学館入口集合写真